

明大法曹会 特別ゼミ 「一般教養（論文試験）について」

明治大学卒業生 金 永志（きむ よんじ）

## 1.はじめに

- ・一般教養も 50 点
- ・合否を分ける
- ・最小限の対策

## 2. 形式面

- ・行数制限少しはオーバーしてもよい（10 行指定→13 行セーフ）
- ・途中で文字の大きさ変えない
- ・時間配分は人それぞれ。私の場合、構成 20～25 分
- ・答案構成大事（下書きする人も）
- ・ナンバリング不要
- ・設問でページ変えない

## 3. 問題文の読み方

### (1)出題パターン

- ・要約（説明）
- ・問題文に即した自説展開

### (2)問いに答える

- ・答えの肝抑える
- ・答え方の条件指定

### (3)考える視点

- ・比較（共通点・違い）
- ・キーワード、その意義、言い換えを抑える
- ・指示語、接続詞を抑える

## 4. 答案の書き方

### (1)総論

- ・採点表があること意識。問題文から離れない。あなたの意見は聞いていない
- ・三段論法不要
- ・改行、接続詞注意
- ・読み手に伝わるように。論理飛躍注意

### (2)要約（説明）パターン

- ・キーワード意識→言い換え、問題提起と答え、接続詞等から把握

- ・抽象的なキーワードを、背景事情や対比、具体例を交えながら具体化する所に点がある
- ・文章全般に触れる（点取りに行く意識）
- ・書き写しはだめ
- ・キーワード以外の部分を要約して説明
- ・段落分け

### (3)問題文に即して自説展開パターン

- ・自説聞いていない。あくまで言い換え
- ・具体例わかりやすいもの。凝りすぎない
- ・序論→本論。段落分け
- ・反対説踏まえる。

（序論）私は～と考える。軽い説明、これからの流れを示す。

（本論）①なぜなら→主根拠 ②たとえば/すなわち→副根拠 ③これに対して→反論

④しかし→再反論 ⑤したがって→結論

or ①確かに→反論 ②しかし→主根拠、副根拠、再反論 ③したがって→結論。

## 5. 対策

- ・新書の慣れ（非現実的）
- ・得意な具体例準備（スポーツ、社会問題）
- ・当然後回し。勉強量が成績に比例するとは言い難い
- ・予備校答練は練習に良い。慣れる